

ききます

お酒の失敗談、恋愛相談、願い事、ひとり言、何でもききます

だい みょう じん

のん太 大明神

場 所

JR西条駅から徒歩3分
みたて
御建神社敷地内
(東広島市西条町西条)



お参りの手順



JR西条駅中案内所にある

無料 イベント時は有料の
場合があります

のん太の形代※をGET

※形代(かたしろ)とは、神霊が依り憑く“依り代”の一種で、
かたどったものの身代わりになってくれるとされる。



聴いてほしい内容を形代に書いて

お賽銭と一緒に形代を賽銭箱へ



毎年「のん太の誕生日」にお納めいただいた
形代と一緒に焚き上げでお清め

京都の松尾大社から分霊を受け、お酒の神様が祀られている松尾
神社のある御建神社敷地内に、ひっそりとたたずむのが、ききます
「のん太大明神」です。この地に伝わる「旦過寺の狸和尚伝説」が
モデルの「のん太」は、その伝説の中でお灸の達人といわれたのと
同様に、今も人々の痛みを取り除いているのです。

たん が じ

旦過寺の狸和尚伝説 ～「のん太大明神」誕生のきっかけになった民話～

むかし、四日市(今の西条町)に旦過寺というお寺があり、利口な古狸が住んでいました。この古狸、お酒を買うお金を稼ぐために、和尚に化けては、病人にお灸を据えてまわるほどのお酒好き。しかも、お灸が良く効くと評判で、暮らす場所が酒処とくれば、毎日お灸に出かけては、お礼のお金で酒を買い、酒飲みに明け暮れるのが常でした。

そんなある日のこと、御園宇という里へお灸に出向いた帰り道。いつものように酒飲みを愉しんでいるといつの間にか大雨が降り出し、橋が流れてお寺に帰れなくなってしまいます。困った古狸は、通りがかりの若者に頼みこみますが、酔っ払っていた古狸は、川を渡してもらおう代わりにお灸を教えるやとついつい約束してしまいます。

お灸の据え方を教えてもらった若者は、やがて狸和尚よりもお灸が良く効くと評判になり、大金持ちに。一方、お灸の据え方を教えてしまった古狸のお灸はなぜか熱いばかりで少しも効かなくなってしまいます。そしてとうとう狸和尚にお灸を求める人もいなくなって、大好きなお酒も飲めなくなってしまったとさ。

飲み過ぎて失敗してしまっは後の祭り。皆さんもお酒の失敗で取り返しがつかなくなる前に、「のん太大明神」にお願いして身代わりになってもらいましょう。



のん太の
あゆみ

1990年 第1回酒まつりで誕生／公募で名前も決定
2013年 市長直々に東広島市観光特命大使に任命
年俸1本で契約(←日本酒だよ!)
2014年 全国へ挑戦!ゆるキャラグランプリに初参戦

2015年 市の公認マスコットキャラクターへ昇進
2018年 市長との年俸更改契約 年俸3本へアップ!
2020年 生誕30年を迎える

公益社団法人 東広島市観光協会

〒739-0025

東広島市西条中央7-23-35 東広島商工会議所会館2F
TEL 082-420-0310